

【第1刷をお持ちの方】

「獣医微生物学 第4版」正誤表

	誤	正
68 頁 左段 下から 19 行目	フェリン, ヘモグロビンなどの鉄結合蛋白質 (シデロフォア siderophore) との複合体であり,	フェリン, ヘモグロビンなどの鉄結合蛋白質との複合体であり,
68 頁 左段 下から 14 行目	鉄結合蛋白質を分泌し, 鉄-シデロフォア結合体	鉄結合蛋白質 (シデロフォア siderophore) を分泌し, 鉄-シデロフォア結合体
80 頁 右段 下から 6 行目	80%, イソプロパノールでは 30 ~ 50% の至適	80%, イソプロパノールでは 50 ~ 70% の至適
112 頁 右段 下から 12 行目	性結核菌), <i>Y. enterocolitica</i> (エルシニア腸炎) の	性結核菌), <i>Y. enterocolitica</i> (腸炎エルシニア) の
113 頁 表 8-3「仮性結核」の「病原体」の項	<i>Y. enterocolitica</i>	<i>Y. pseudotuberculosis</i>
116 頁 左段 下から 8 行目	至適培養温度は 37℃で, 普通寒天培地や TSA 培地などの一般培地でよく発育し,	普通寒天培地や TSA 培地などの一般培地でよく発育し,
122 頁 左段「(1)分類」の1行目	パストツレラ <i>Pasteurella</i> 属, マンヘイミア <i>Mannheimia</i> 属および	マンヘイミア <i>Mannheimia</i> 属および
123 頁 右段 上から 10 行目	ある易熱性の皮膚壊死毒素 dermonecrotic toxin	ある易熱性の皮膚壊死毒素 dermonecrotic toxin
155 頁 表 8-23「病原体」の項, 下から 2 段目	<i>Plebotella</i> sp.	<i>Prevotella</i> sp.
294 頁 左段 下から 1 行目	肝炎ウイルスに関する生化学的な知見が多く得ら	や C 型肝炎ウイルスに関する生化学的な知見が多く得ら
466 頁 右段 上から 1 行目	属, ナニチア <i>Nannizzia</i> 属, トリコフィトン	属, ナニチア <i>Nannizzia</i> 属, トリコフィトン
467 頁 表 14-2「皮膚糸状菌症 (人獣)」の「主要原因菌」1 行目	<i>Microsporum canis</i> , <i>Nannizzia gypsea</i> ,	<i>Microsporum canis</i> , <i>Nannizzia gypsea</i> ,
467 頁 表 14-2「スポロトリクス症 (人獣)」の「主要原因菌」2 行目	<i>S. schenckii sensu stricto</i>	<i>S. schenckii sensu stricto</i>
467 頁 右段 下から 3 行目	70% が <i>Microsporum canis</i> で, <i>Nannizzia gypsea</i>	70% が <i>Microsporum canis</i> で, <i>Nannizzia gypsea</i>
468 頁 左段 上から 6 行目	への感染源となる。その他 <i>Nannizzia gypsea</i> ,	への感染源となる。その他 <i>Nannizzia gypsea</i> ,
468 頁 右段 上から 1 行目	(2) <i>Nannizzia gypsea</i> および <i>N. incurvata</i>	(2) <i>Nannizzia gypsea</i> および <i>N. incurvata</i>
468 頁 図 14-9 キャプション	<i>Nannizzia gypsea</i> の集落	<i>Nannizzia gypsea</i> の集落
469 頁 図 14-10 キャプション	<i>Nannizzia gypsea</i> の大分生子	<i>Nannizzia gypsea</i> の大分生子
469 頁 左段 上から 3 行目	関係の深い土壌中から効率に分離される。	関係の深い土壌中から高率に分離される。
474 頁 右段 上から 9 行目	<i>brasiliensis</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,	<i>brasiliensis</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,
474 頁 右段 上から 12 行目	<i>globosa</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,	<i>globosa</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,
474 頁 右段 下から 11 行目	原性が認められる。スポロトリクスは二形成菌	原性が認められる。スポロトリクスは二形性菌
474 頁 右段 下から 6 行目	スポロトリクスは, 世界各地の温暖~熱帯に	スポロトリクスは, 世界各地の温帯~熱帯に
475 頁 左段 上から 14 行目	<i>sensu stricto</i> で, ブラジルと同様に	<i>sensu stricto</i> で, ブラジルと同様に

【第2刷をお持ちの方】

「獣医微生物学 第4版」正誤表

	誤	正
116 頁 左段 下から 8 行目	至適培養温度は 37℃で, 普通寒天培地や TSA 培地などの一般培地でよく発育し,	普通寒天培地や TSA 培地などの一般培地でよく発育し,
122 頁 左段「(1)分類」の1行目	パストツレラ <i>Pasteurella</i> 属, マンヘイミア <i>Mannheimia</i> 属および	マンヘイミア <i>Mannheimia</i> 属および
123 頁 右段 上から 10 行目	ある易熱性の皮膚壊死毒素 dermonecrotic toxin	ある易熱性の皮膚壊死毒素 dermonecrotic toxin
294 頁 左段 下から 1 行目	肝炎ウイルスに関する生化学的な知見が多く得ら	や C 型肝炎ウイルスに関する生化学的な知見が多く得ら